

No.	015	—	3001	事務事業名	地域公共交通に関する事務	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	まちづくり課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	21年度～	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち	政策項目	5 道路・交通網の整備			主要施策	(5)公共交通機関の利便性向上				
	事業の対象	交通空白地域、交通弱者（高齢者や子ども等）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	東温市に合った地域公共交通体系の構築等により、市民の移動手段を確保します。			今年度	東温市に合った地域公共交通体系を構築するための計画に基づき、バス路線の再編や交通結節点の整備などを行います。						
	活動内容	①	山間部を走るバス路線を運行ルートやダイヤを見直し、利便性の向上を図ります。			④							
		②	鉄道と路線バスの結節点である横河原駅の駅前広場を整備します。			⑤							
		③	市内循環バスの導入に向け、ワークショップ等を開催し検討を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		東温市地域公共交通活性化協議会の開催回数		協議会での議論をもとに地域公共交通の活性化に取り組むため。		回	目標 1	4	4	4			
山間部バス路線の維持		東温市地域公共交通総合連携計画での目標		路線	目標 1		5	5					
				目標									
				実績	1	5							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木			費				
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	5,712千円	9,300千円								
		一般財源	60千円	430千円	12,194千円								
	計(A)	60千円	6,142千円	21,494千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000人	7,554千円	1.022人	7,704千円	1.022人	7,555千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		7,614千円	13,846千円	29,049千円								
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民と交通事業者等をつなぐ役割として市が主体的に取り組んでいく必要があります。												
有効性	施策の目的を実現するために必要な手段を検討し、各種取組みの基本となる計画を策定しました。この計画に基づき取り組んでいきます。												
達成度	施策の目標を計画に決めました。この計画に基づき取り組んでいきます。												
効率性	多様な団体や市民をメンバーとした協議会を中心に取り組んでいるため、それぞれの団体と協力し、取組みを効率的に進めています。												
当面の課題	施策の基本となる計画を策定することができましたので、この計画に基づき取り組んでいきます。												
改訂計画	市民、交通事業者、関係機関、市からなる協議会で引き続き活発な議論を行っていきます。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	平成22年度に地域公共交通活性化協議会において策定した、「地域公共交通総合連携計画」に基づき、各地域に適した公共交通サービスの提供に努め、持続できる市民の移動手段の確保が重要であると考えます。												

No.	015	—	3002	事務事業名	土地区画整理事業に関する事務	細事務事業名	土地区画整理事業完了地区における維持管理に関する事務	公的関与	6				
PLAN	課名	まちづくり課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	2 魅力ある市街地の整備		主要施策	(3) 人と環境にやさしい市街地づくり				
	事業の対象	土地区画整理事業が完了した地区				根拠法令							
	事業の目的	最終的	土地区画整理事業により構築された排水施設の良好な維持管理			今年度							
	活動内容	①	土地区画整理事業によって構築された排水施設、調整池等の汚泥除去			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		排水施設の汚泥の除去率		除去した汚泥の量 / 蓄積汚泥の量		%	目標	100	100	100	100		
実績							100	100					
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木		費					
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	864 千円	562 千円	936 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	864 千円	562 千円	936 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020 人	151 千円	0.027 人	204 千円	0.027 人	200 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,015 千円	766 千円	1,136 千円								
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	土地区画整理事業によって構築された良好な住環境を維持していくために必要な事業です。												
有効性	浸水被害の発生を抑制するには、排水施設の機能を維持することが有効です。												
達成度	定期的な維持管理作業により、排水施設の機能が維持されています。												
効率性	住民の人力では管理しきれない施設については専門業者に委託し、機械による作業を行う方が効率的です。												
当面の課題	近年の異常降雨による浸水を未然に防ぐため、水路の排水機能の確保と調整池等の適正な維持管理はさらに重要となっています。												
改計画	排水施設の適正な維持管理に努めるとともに、施設の定期的な点検を行い、より効果的で効率的な維持管理を計画的に進めます。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公共下水道の整備により、汚泥の蓄積は年々減少しており、地域で実施可能な部分については、地元管理を検討する時期が来ていると考えます。 なお、道路側溝等他の係と連携して実施可能な業務については、見直しを行い事務の効率化を図ることも必要です。												

No.	015	—	3003	事務事業名	愛媛大学医学部周辺整備に関する事務	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	まちづくり課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託・補助等	実施計画	該当	事業期間	21年度～27年度 <input type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	2 魅力ある市街地の整備		主要施策	(2)市街地の計画的整備				
	事業の対象	愛媛大学医学部周辺地区				根拠法令	都市計画法・土地区画整理法						
	事業の目的	最終的	交通の利便性(伊予鉄道高浜横河原線)や公共施設(東温高校、愛媛大学医学部付属病院等)に恵まれた地区の地域条件を生かし、都市基盤の整備された良好な市街地の形成を図ります。			今年度	都市再生整備計画事業として事業着手します。						
	活動内容	①	市道樋口東温高校線の測量設計を行います。			④	志津川地区土地区画整理事業の測量設計を行います。						
		②	市道見奈良1号線の工事に着手します。			⑤	志津川、横河原、見奈良地区において住民ワークショップを開催します。						
		③	市道見奈良2号線の測量設計を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		道路の整備状況(歩きやすさ等)についての市民満足度		アンケート調査による道路幅員や歩道の歩きやすさ、路面状況等の道路整備状況に対する市民満足度(5段階評価の平均点)		点	目標	—	—	—	2.3		
防犯・防災対策に対する市民満足度		アンケート調査による街路灯の整備状況や緊急避難路・水害対策に対する市民満足度(5段階評価の平均点)		点	目標	—	—	—	2.7				
歩いて公園へ行ける区域の割合		事業区域内で公園・緑地へ徒歩5分程度で歩いて行ける区域の割合		%	目標	—	—	—	70				
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木				費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	11,227 千円	213,373 千円	※1)成果指標の目標値は、H26年度にアンケート調査を実施し確認する予定。 ※2) H22年度直接事業費の一部は、H23年度へ繰越。							
		地方債	0 千円	9,900 千円	273,800 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	345 千円	8,341 千円	49,097 千円								
	計(A)	345 千円	29,468 千円	536,270 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	4.500 人	33,993 千円	4.839 人	36,476 千円	4.200 人	31,046 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.250 人	426 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		34,338 千円		66,370 千円		567,316 千円						
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	分散している市街地(横河原、志津川、見奈良)や学校、商業施設を結ぶネットワークの形成を図り、市街地の一体性の向上を図るために必要な事業です。												
有効性	都市再生整備計画として国の認可を受けることにより、国の助成を受け、まちづくりに必要な事業が実施できます。												
達成度	平成21年度に都市再生整備計画(愛媛大学医学部周辺地区)として国の認可を受け、本年度事業着手しました。												
効率性	入札制度を利用して、測量設計等を民間委託し事業費の削減が図られました。												
当面の課題	都市再生整備計画事業では、まちづくりの方針に沿って道路事業、土地区画整理事業等の都市基盤施設整備を計画期間(5年間)内で行うため、スピードを持った事業展開が必要です。												
改計画	国庫補助金等の財源確保はもとより、事業スケジュールに沿った集中的な予算の確保、また、それに見合う人員の配置が必要です。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	まちづくりワークショップ等の市民の意見を踏まえつつ、まちづくりの方針に沿って都市基盤施設の整備を行なうことが重要です。新たな事業も進みつつあり、市の負担が少しでも軽減となるよう、補助金等の財源確保に努めてください。事業の増加による人員配置については、人事担当部局と調整を図ります。												